



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構福岡支部
福岡職業能力開発促進センター飯塚訓練センター

ポリテクセンター飯塚

投稿者 センター長 関 孝司 様

企業概要および事業内容

我々の法人は、厚生労働省が所管する独立行政法人です。詳しい事業内容は割愛しますが、法人名のとおり高齢者、障害者並びに求職者の雇用支援を行う組織で、「らしく、ともに、はたらく」というブランドメッセージを掲げ業務にあたっています。

ポリテクセンター飯塚では、求職者の就職を支援するための職業訓練（6ヶ月間）と中小企業等で働く方々を対象とした職業訓練や人材育成等の支援を行っています。このポリテクセンターは全国で63カ所あり福岡県では飯塚市のほかに北九州市八幡西区にもあります。

退職自衛官を採用するに至った経緯

求職者の就職を支援するための職業訓練を実施するには、訓練内容を教える先生が不可欠となり、職業訓練指導員（テクノインストラクター）という免許が必要となります。また、ポリテクセンター飯塚には全国的にも設置数が少ない「建設機械科」という職業訓練コースが設けられています。しかし、設置数が少ない影響もあってか教えられる職業訓練指導員の数も少ない状況が続いており、当センターにおいても人手不足でした。

そこで、当機構が実施している「社会人経験者の採用」を活用して、飯塚駐屯地援護センターへ求人を依頼しました。

退職自衛官の仕事の内容

職業訓練指導員として、建設機械科へ配属されています。建設機械科では「建設機械運転」「車両系建設機械運転（解体）施工作業」「測量作業」「荷役作業」「荷役機械運転作業」「土木施工」の6つの科目があり、その中で、それぞれの科目の実技を担当していただいております。また、求職者の就職を支援する職業訓練であるため、訓練生の「就職支援」の業務も行っております。



退職自衛官の働きぶり

採用されて1年3か月が経過しましたが、自衛隊在職中に隊員に対して建設機械等の講師をされていた経験を活かされており、また、明るく頼りがいのあるキャラクターであることから、職業訓練指導員として実力を発揮されており、訓練生からも様々な相談を受けるなど大変慕われています。



元自衛官からのメッセージ

～再就職活動をスタートする後輩自衛官に向けて～

建設機械科 有光 由起夫 氏（令和7年4月採用）
飯塚駐屯地 第2施設群 第401施設中隊で定年退職

私は令和7年4月にポリテクセンター飯塚の建設機械科の職業指導員として新たな一步を踏み出しました。自衛官時代に培ってきた建設機械教育の経験や、安全を最優先にする姿勢は、今の職場においても大きな力になっていると感じております。

自衛官として積み重ねてきた誠実さ、責任感、そして仲間を思いやる気持ちは、どの現場でも高く評価されるかけがえのない財産です。

これから退職を迎える自衛官の皆さんも、自信をもって新しい環境で、自分らしく前向きに悔いのないよう挑戦してください。

